

第81回	しみず新事業創出研究会	1日(火)
第54回	「産学官交流」講演会・交流会	25日(金)
	工業所有権審査会	8日(火)

「要 旨」

1、第81回創出研究会 1日 出席31人

2) 中西会長の情報提供

- (1) **電気二重層コンデンサ**…蓄電効率が顕著なコンデンサ、短時間で充放電・長寿命・低電圧等が長所であるが、価格が比較的高い・感電の危険性ありとの短所も併せ持つ。完成された技術であり既に、FDK・日清紡・明電舎等の企業で事業化に着手。地元の事業化候補として注目したい。
- (2) **各種材料の落下衝撃試験報告**…「複合緩衝材2」(ゲルシート2枚)がタイカ社のゲルより優れる。人命救助用等で事業化候補として注目。
- (3) **ヤシャブシ**…カバノキ科ハンノキ属植物で草木染めで知られる。新型インフルエンザウイルス殺菌で注目(梅檀の100倍以上)。マスク外側の塗布とか、飲料(動物で毒性試験中)等で事業化候補。

3) 会員企業紹介 日本ケミカル工業(株)

創立47年目、資本金/1億円、売上/67億円、従業員/79名、海外工場/ジャカルタ・天津。  
自動車業界のケミカル品の製造・販売/LLC(ラジエータ冷却液)、等。 製缶業/主に4、1。  
建物業メンテナンス用ケミカル品の製造・販売/マンションビル清掃用薬剤、等。  
自動車を取り巻く環境…部材のリサイクル率向上、長寿命化・ハイブリッド化・車ダウンサイジング化で売上減少、バイオ燃料でトラブル発生が多い。  
会員企業への提案…水溶性クリーナーの用途を探している。「こんな汚れが落ちないか」等のご相談あれば話をきいてほしい。

4) 情報提供しずおか産業創造機構、JSTイノベーションサテライト静岡

公的助成金についての説明

5) その他 大日工業(株)

LEDシリーズライトの紹介。神奈川の近藤芸機との連携で試作した、LED特有の高い輝度を抑え快適な照明空間を創る。実用化アイデア募集中。LED活用研究会をやりたい。

2、第54回「産学官交流講演会」(東海大学海洋学部)25日 参加約60人

1)「食の安全と国際規格」 水産学科 荒木恵美子 教授

- ・ グローバル化する食品の安全ハザードとリスクは?。食品の輸出入が増加し、人の移動も広域化していて、食生活も変化しアレルギーの増加、遺伝子組換えとか養殖等の新技術、またフードテロの発生も危惧されている。
- ・ 食品安全を保障するシステムHAACP(HAZARD ANALYSIS and CRITICAL CONTROL POINT)・・・、保証する安全性は100%ではない(ゼロリスクはあり得ない)。
- ・ フードディフェンスへの対応・・・日本は長閑な国民性を持ち考えが甘い。生のレバーは実に危険。

新型インフルエンザのお陰で、手洗い励行習慣付けは良いこと。

## 2) 「光を使った測定器」～われわれの新しい取り組み～ 清水教養教育センター 大石友彦 教授

地球温暖化問題で、新しい話題提供があった・・・CO<sub>2</sub>の増加で地球全体の気温が上昇し、海面上昇・気候変動・海洋酸性化・疫病等、社会的混乱が懸念されているが、温暖化の進行はゆっくりで時間的余裕があると思う人が少なくない。今、地球科学研究者が最も懸念している事は、地球温暖化が引き金になり、「寒冷化が起きるのでは？」(氷河期)との推測である。温暖化による水解水(真水)が海面を覆い、「熱塩大循環」(北海・インド洋・太平洋を表層と深層で循環する海流)にフタがされ、寒冷化を引き起すのでは？と。既にその兆候が欧州で観察されているという。地球温暖化問題の鍵は、CO<sub>2</sub>を吸収する光合成である・・・

地球表面の2/3は海で、海洋の植物プランクトンは、陸上植物の2～3倍CO<sub>2</sub>を吸収する。地球規模での海洋植物プランクトンの挙動を知りために地球規模のCO<sub>2</sub>の正確な予測をし、地球温暖化を抑制したい。プランクトンは多種多様の蛍光を出す色素を持つ。衛星から観測した海の色から、植物プランクトンの濃度分布が比較的正確に求められる「多波長同時励起蛍光光度計」を東海大で開発中である。構造が単純、光センサの追加で多種の発光色を測定でき、測定時間が短いという利点がある。

## 3、工業所有権審査会 8日(火)

1件の出願申請の可否、2)申請済み1件の了承、3)保留中の申請原案(植物成長促進剤)の追加データの取り扱いと申請の可否。について審議した。

### 1)出願の可否

静岡県立大学中山教授:みかん果皮及び搾りカスを亜臨界水抽出処理することで、有機溶剤を使用せず、機能性成分を短時間で効率よく抽出する方法について特許を出願したい。

結論:出願する。

### 2)出願済みについて

静岡大学農学部 徳山真治 准教授 代理説明:小林コーディネータ

イチゴ炭疽病予防効果のある放線菌3種を発見した。この微生物堆肥をイチゴ農家に販売する。本件は既に申請済み(平成21年7月10日)JSTのA-STEP補助金申請に添付した。

申請人:富士見工業(株) 清水商工会議所

結論:了承された。

### 3)保留中の課題

「新規植物成長促進物質」静岡大学農学部 衛藤英男教授(森田教授)

20年2月28日に本件の工業所有権審査届け出書が提出され、10月に吉川弁理士の原案が出来たが(化学物質:コンパウンドA)周辺物質の探索を加える事で、出願を保留していた。周辺物質4種を合成、その成長効果を検討中である。4種の化合物は「新規物質」の可能性が高く、植物成長促進剤という範囲を超えるものであり、保留中の原案を含め特許申請の審議願いと、現状の研究状況の報告が衛藤教授からあった。

結論:現状は把握できた。保留中の原案は、植物成長データを加えて出願する。4種の化合物は新規物質として、別の特許として出願する。

#### 4) 審査請求について(出願済案件の今後の進め方について)

「特願2007-087278 光照射によるサポニン生成系に關与する遺伝子の発現増強法」の審査請求期限が2010年3月29日になる。審査請求するか否かについて、また今後審査請求期限が続くので、その対応について、事務局から提案した。

結論：本件は審査請求する。また今後の案件についても審査委員会に諮ること。

#### 4、その他 事務局

- 1) 企業・大学訪問 打ち合わせ 事務局
- 2) 10月15日～16日のイノベーション・ベンチャーサミット準備 事務局
- 3) 静岡大学生物産業創出拠点21回研究会 (25日)・・・事務局参加  
テーマ：「アイデアで支える日本の食品産業」
  - ・無菌包装餅、無菌包装米の製造技術及び包装技術の進展 佐藤食品工業㈱
  - ・カツオ・マグロから得られるアンセリンの生理機能性 焼津水産化学工業㈱
  - ・食品工業の強いR/D体制の作り方 元カゴメ研究所長
- 4) 第1回LED研究会 (28日) 大日工業㈱/川瀬社長主宰(28日)  
大日工業㈱の試作照明機器を叩き台に、「活用・実現」させる事を目的に顔合わせを行った。
- 5) アスタドリンクの調査(某大手健康食品流通企業での採用の可能性について訪問)
- 6) しずおか新産業技術フェア in2009 (23日～25日：静岡ツインメッセ)に機構会員から、大日工業㈱「LED照明機器」、㈱グリーンセイジユ「常温乾燥装置 KONAZO」、ヤマダユニア㈱「土壌粉塵抑制剤」、(有)田島農園「単光光源照射スプラウ」、東西化学産業㈱「亜臨界水試験装置アクアイルージョン」が展覧する。

#### 5、二渡コーディネーターコメント

10・15,および16日、当地でイノベーション・ベンチャーサミットが開かれることになった。中西会長が指導されている全国の研究会が一堂に会して交流を行うもので、全国的にも極めて稀なケースである。7つの研究会がその成果と問題点等について率直に情報交換しあうことで、今後の活動にとり、計り知れない効果を生むものと期待される。  
この機会に、地元企業が積極的によその地域のやり方を吸収し、これまで弱点とされた開発に対する対応の姿勢を改善できれば、なによりと期待している。

#### 6、今後の予定

	10月	11月	12月
創出研究会		6日	未定
イノベーション・ベンチャーサミット	15～16日(東海大・県立大・日立アプライアンス)		
しずおか新産業技術フェア2009	23～25日(ツインメッセ)		
「産学官交流」講演会	(55回沼津高専)13日	(56回静岡大農)11日	

以上